

⑤-1 図書館と類縁施設を知る

舞鶴市子育て交流施設「あそびあむ」 訪問ヒアリング記録

日時：令和4年1月17日(月)午前10:30～
場所：子育て交流施設あそびあむ
出席：子育て交流施設あそびあむ：野口副所長、根兵保育士
市民文化環境部文化スポーツ室図書館課：平野課長
寺田大塚小林計画同人：寺田、小林

○開館の経緯

- 平成27年4月開館。所管は子育て支援課。

○利用者のようす

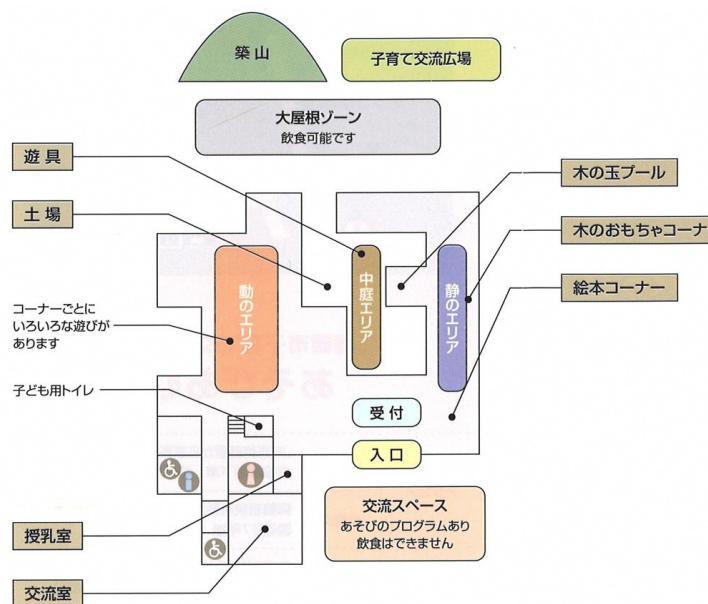
- 新型コロナウィルス感染症発生の前は、年間7万人が利用。
- 市内外から、多いときで一日400～500人の来館がある。
- 平日午前中は乳幼児連れの個人利用が多い。
- うみべのもり保育所が隣接しているので、平日はお迎え帰りに親子で利用されることも多い。
- 土日は小学生の利用も多い。

○図書コーナーについて

- 絵本や子育て関連図書を配架している。展示の冊数は少ない。
倉庫に展示していない図書の収蔵があるらしい。
絵本は平置きで、季節ごとに選んで配架している。
夏休みなどは小学生向けに多くの図書を配架している。
- 館内閲覧のみで、貸出はしていない。
- 図書は備品扱いで、蔵書リストあり。毎年購入予算はついている。
- 図書館からの団体貸出等は受けていない。
- 年代別のおはなし会を行っている。読み聞かせの担当者で、個人的に図書館から本を借りて準備している人もいる。
- 図書館から貸出を受けるなら、大型絵本などを利用したい。

○将来的な図書館との連携の可能性

- ブックスタート、乳幼児検診などとの連携は今のところない。
- 連携コーディネートや図書の団体貸し出しなど支援が出来るか。
- 玄関ピロティやボランティア室（集会対応か）などの自動車図書館サービスの拠点化などが出来れば、東舞鶴海側（旧東公民館サービス地域）の子どもや育児市民層につながる。



動のエリア 小学生程度を対象
遊具など身体を動かして遊べる遊具を置いています。



図書コーナー 閲覧のみで貸出はしていない。
絵本や保護者向けの子育て関連図書を配置



広々とした入口・受付回り
入口の外に広い「交流スペース」がある。



深い庇の外部(飲食可)、築山・中庭など外遊びの
スペースも充分にとられている。

⑤-1 図書館と類縁施設を知る

市議会図書室/総務課図書コーナー¹⁾ 訪問ヒアリング記録

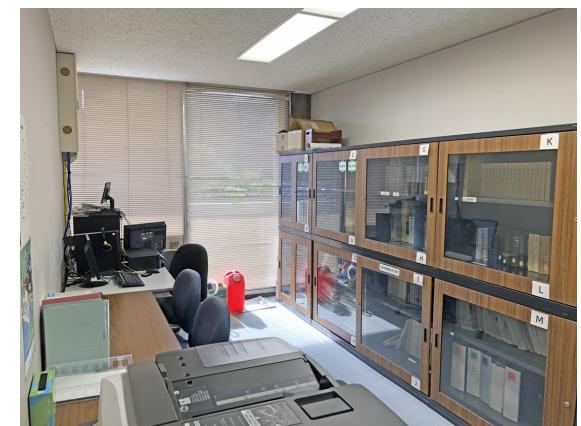
日時：令和4年1月17日(月)午前11:50～

場所：市議会図書室、舞鶴市総務課
出席：舞鶴市議会事務局総務課総務係：松浦係長、藤原担当
舞鶴市総務部総務課：多田課長
市民文化環境部文化スポーツ室図書館課：平野課長
寺田大塚小林計画同人：寺田、小林

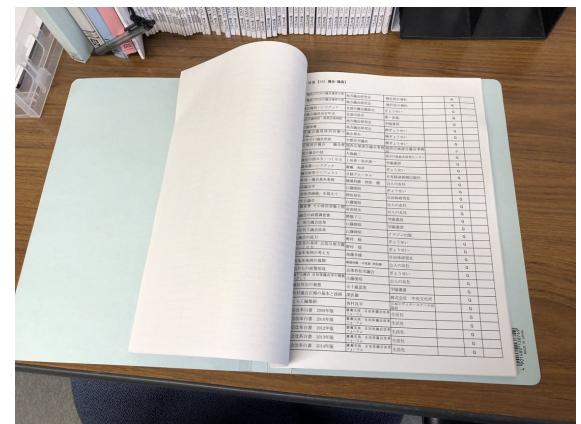
<市役所内 議会図書室>

○配架と蔵書について

- 配架しているものは、議会の会議録、法律や議会運営に関する一般書、市の刊行物など。
- 配架量は8連4段程度。古くなった資料は保管庫に移動。条例で廃棄する保管年数は決まっているが、基本的に廃棄はない。(今後、保管庫の容量で検討することになる)
- 市の調査記録等で検討段階の印刷物は配架しない。
- 議員だより等は、個別ファイルに整理はしていない。政務活動費でつくられたものは添付資料として提出してもらう。
- 図書館との連携はない。資料の持ち合いや蔵書リスト等の共有はしていない。
- 資料購入は、議員各派から購入希望書籍名を挙げてもらい、決定している。



市議会図書室、蔵書量は8連4段程度。
古くなった資料は保管庫へ移動する。



市議会図書室 蔵書リスト
分類は配架のためにアルファベットで管理している。



総務課図書コーナー

<総務課図書コーナー>

- 市役所職員の図書検索や利用については、議会図書室よりも総務課内の「法令規則系図書コーナー」が知られている。

○配架について

- 配架しているものは、加除式の法令資料、法律や情報公開関係の一般書など。
- 配架量は4連3段程度。

○貸出について

- 図書貸出簿に記載してもらい、管理している。

○将来的な図書館との連携の可能性

- 議員諸氏や市役所職員への資料提供や調査支援は、目指すべき課題解決型図書館のサービスとなっている。
- 検討部会の協議でも、鳥取県、横浜市、日野市の市政図書室（図書分館化）の先例を紹介している。(片山前知事・前総務大臣の行政図書館の重要性に関する解説、根本彰東大・慶大元教授の日野市市政図書館調査)
- 近年の図書館計画の動向として、議員・行政職員・市民の調査利用を支援する「行政資料図書館」の必要性、重要性の再確認がある。また、リーダーシップが効かないこと、なかなか実現しない状況もある。
- 各地の形骸化・低利用の議会図書室を、全市図書館システムに組み入れ、専門職員を配置し、地域行政資料（広域市町村行政を網羅して）を積極的に収集し、コンシェルジュのように調査支援やドキュメンテーション（簡易調査と調書作成）を行う。これら情報ストックを、全市図書館システムとして共用する施策が知られる。
- 舞鶴市では、上記のような図書館の行政サービス、行政図書館分館体制への施策方針について、どういう段階を踏んで具体化を図ってゆけそうか、今後の詳細な検討と方針・意志決定が求められているといえるだろう。市役所直近に並ぶ赤煉瓦施設の一角に、こうした機能とスペースを構想することは不可能だろうか。図書館基本計画のテーマのひとつに加えることは妥当だろうか。

⑤-1 図書館と類縁施設を知る

JR小浜線 松尾寺駅舎・salon de RURUTEI まつのおてら 訪問ヒアリング記録

日時：令和4年1月18日(火)午前10:00～
場所：JR小浜線 松尾寺駅舎
出席：salon de RURUTEI：片山代表、砂田さん
市民文化環境部文化スポーツ室図書館課：平野課長
寺田大塚小林計画同人：寺田、小林

○駅舎利用の経緯

- ・松尾寺駅：JR小浜線の無人駅
木造駅舎そのものは機能を失い廃駅化している。
- ・駅舎は2008年にJR西日本から舞鶴市に無償譲渡された。
- ・2009年 舞鶴市の観光交流施設としてオープン、NPO法人「駅舎と共にいつまでも」が指定管理者となる。
- ・2018年 駅舎が登録有形文化財に指定。
地域の人々の記憶と情緒の中心的なシンボルとなっている。



松尾寺駅外観 2018年登録有形文化財となった。

○ salon de RURUTEIについて

- ・松尾寺の門前に日本茶屋「流々亭」として営業していたが、2017年の台風21号の被害で営業ができなくなっていた。
- ・NPO法人「駅舎と共にいつまでも」から業務委託を受けて、2019年に「salon de RURUTEI」を松尾寺駅にオープンした。
- ・新型コロナ感染症の影響で、現在は喫茶を休止しているが、お茶飲料のテイクアウトと「両丹茶」や茶菓子などを販売している。舞鶴市産100%のお茶も販売している。
- ・駅舎は志楽地区の選挙投票所としても利用されている。
選挙があるときは、「salon de RURUTEI」も商品展示をかたづけてスペースを空けている。
- ・地域の高齢者が集まる場所となっている。



駅舎の待合いスペースは広々としている。BM拠点の候補として考えられるか。



観光交流施設部分(現：RURUTEI)は選挙投票所としても利用されている。

⑤-4 市民グループから活動と意見を聴く ふしぎの国（人形劇、エプロンシアター）

日時：令和4年1月18日(火)午前10:30～

場所：舞鶴市立東図書館海洋資料室

出席：ふしぎの国：井本さん、石橋さん

舞鶴市立東図書館：竹之内館長

寺田大塚小林計画同人：寺田、小林



竹之内館長とふしぎの国の皆さん

○今後の図書館への要望

- ・催しを行うときに、スペースが足りない。人形劇の舞台スペースと観客の間が狭いことがある。
- ・駐車スペースが足りない。おはなし会等講演があるときに、諦めて帰ったという利用者もいる。
- ・図書館で子どもが走り回ることに寛容でない方が多い。上手にスペースをとれないだろうか。
- ・高浜町の図書館のように資料を増やしてほしい。

○図書館の主要な機能として「集会・展示」があり、サービスとして「場の提供」「出会いの提供」がある。図書館利用から派生する市民活動に場を提供し、市民活動の広がりや世代交代を、出会いの創出によって支援することが求められる。

⑤-4 市民グループから活動と意見を聴く おはなし玉手箱（ストーリーテーリング）

日時：令和4年1月18日(火)午前11:15～

場所：舞鶴市立東図書館海洋資料室

出席：おはなし玉手箱：杉浦さん、須崎さん、美矢さん

舞鶴市立東図書館：竹之内館長

寺田大塚小林計画同人：寺田、小林



おはなし玉手箱の皆さん

○今後の図書館への要望

- ・講演会をやってほしい。以前は絵本作家などの講演、文学講座などもあった。
- 図書館で予算がつかなくなったので、最近は講演会等ができない。
- 他市では、図書館友の会などが会費で講演会を行っているような事例もあります。

○図書館の社会教育機能として「企画講座」がある。「学習機会の提供」「作家・著作者や共感し学ぶ仲間との出会いの提供」「創作や発表の機会創出」がこれにつながる。図書館利用から派生する市民活動に場を提供し、出会いつながる機会を創出することも、地域社会を図書館が支援することである。

⑤-4 市民グループから活動と意見を聴く

おはなしキャラバンたんぽぽ（人形劇）

日時：令和4年1月18日(月)午後2:10～

場所：舞鶴市立西図書館歴史資料室

出席：おはなしキャラバンたんぽぽ：根津会長、大田さん、北さん
後藤さん、米田さん

舞鶴市立西図書館：西駢館長
寺田大塚小林計画同人：寺田、小林

○活動の内容

- ・西図書館で年4回、人形劇を行う。ペーパーサート、紙芝居、エプロンシアター、パネルシアター等多数のレパートリーあり。
- ・小学校、幼稚園、保育所、学童、支援学校、介護施設、高齢者サロン、社会福祉協議会からの依頼などで公演を行う。
- ・東舞鶴高校で2時間の授業を依頼されたことも。（おはなし、人形づくり、上演の指導）
- ・毎週木曜午前に、図書館で人形作りや練習を行う。自宅で部分的につくり、図書館で仕上げる。

○活動の歴史とひろがり

- ・活動歴36年：「母と子の読書サークル」を母体に1985年に発足。
- ・平成27年に文部科学大臣表彰、同年30年記念誌発行。
- ・現在の活動人数：実働は10人程度。60人を超える卒業者がいて、若い人も入っているので活動を繋げていけると思う。
- ・最近は子育て講座からの依頼がなくなったので、新しい団体が活動しているのかもしれない。

⑤-4 市民グループから活動と意見を聴く

読書会参加者のみなさん

日時：令和4年1月18日(月)午後1:00～

場所：舞鶴市立東図書館

出席：読書会参加者：越後さん、杉本さん
舞鶴市立東図書館：竹之内館長
寺田大塚小林計画同人：寺田、小林

○活動の内容

- ・東図書館主催で月1回開催。図書館がテーマを選んでいる。
- ・参加者のまとめ役の様な方(90代)がレジメをつくってくれる。
- ・芥川賞・直木賞の受賞作品や話題になった作品が選ばれていて、自分では選ばないものに出会う新鮮な機会となっている。
- ・感想の交換で、一人で読むのとは違う視点があるのが楽しい。作品に関連して、舞鶴の過去の出来事を聞けることがある。

○活動の歴史とひろがり

- ・活動歴30年：図書館がテーマを選び、お知らせしている。
- ・主に参加する会員：10人前後、当日飛び入り参加可能。
- ・参加者は高齢者が多い。若い人が参加しても単発で続かない。平日の午後にやっているからか。
- ・広報にイベントとして紹介されているが、声掛けの工夫をしたほうが良いように思う。これからも続していくくしくみづくりが必要。



西駢館長とおはなしキャラバンたんぽぽの皆さん

○今後の図書館への要望

- ・製作も練習も図書館がなければ活動ができない。
- ・出来上がった人形を図書館に預けている。材料や道具の置き場も課題。図書館の私物化と言われないか、という不安もある。
→図書館に創作室やボランティアロッカーを設置する事例は多数ある。（預かる荷物に限りはあるが）
- ・人形を図書館所蔵として移管して、他の団体に貸出して使ってもらうなどの考え方もある。
- ・他市では布の絵本をつくる団体が、図書館で貸し出す布のおもちゃや絵本の製作等の協力をしているという事例もある。

○市民の作品と学習活動営為を、舞鶴社会の公共財として共有して、次の世代に伝えてゆくことも、図書館の大きな社会的使命にちがいない。

⑤-4 市民グループから活動と意見を聴く

視覚障害者支援ネット・チームまなざし 丹後視力障害者福祉センター（あい丹後）

日時：令和4年1月18日(火)午後3:00～

場所：舞鶴市立西図書館歴史資料室

出席：視覚障害者支援ネット・チームまなざし：神田理事長
丹後視力障害者福祉センター（あい丹後）：堤相談員
ガイドヘルパー：千原さん
舞鶴市立西図書館：西駢館長
寺田大塚小林計画同人：寺田、小林

○図書館とのかかわり

- ・西図書館で音声ガイド付きバリアフリー映画上映会（京都ライトハウス主催）を行ってからのかかわり。
- ・あい丹後は京都府北部全域を対象として活動している。点字図書・録音図書の製作を行っている。堤さんは舞鶴市在住。

○図書館の利用促進について思うこと

- ・東舞鶴、西舞鶴ともにしっかり図書館を配備してらっているが、交通至便でないことが利用の少ない原因であると思う。
- ・視覚障がい者としては、来館のサポートが少ないことも利用しづらい環境となっている。
- ・利用者が少ないので、アピールの問題もあると思う。月1回広報誌に図書館の案内が載るが、障がい者・健常者ともに行き渡っていない。新聞折り込みのみでポスティングがない。新聞をとっている人が少なくなっている。
- ・広報は、社会福祉協議会に送付しているがラックに置いてあるだけの状態。地域包括支援センターには送っていない。

- ・ドラマ「ヤンキーくんと白杖ガール」のように音声が付いた電子図書媒体が多くあると良い。
- ・ボランティア団体は、身体障害者福祉センターと図書館で住み分けがあり、繋がりがうすい。
→障害福祉課と図書館が話し合って連携をとるよう考えていきたい。
- ・ガイドヘルパーの延長として、図書館で朗読ボランティアの要望があったこともある。対面朗読書の要望は、どの図書館でもある。
- ・プレクストーク（音声再生機器）の利用者は舞鶴市に30名ほどおられるが、軽度障害の方には配布されない。（西図書館は3台所有）
- ・綾部市は社協のたよりがCDでつくられている。
- ・福知山市の図書館は音声資料を所蔵している。

○舞鶴市の福祉系雇用の場について

- ・他県の図書館にある福祉の喫茶室について質問
- ・ほのぼの屋（フランス料理）、ぼーれーべーなど福祉系団体を母体とした障がい者が働く場がある。
- ・雇用を大切にしてほしい。

○今後の図書館や行政（舞鶴市）への要望

- ・図書館に喫茶室などもあると良いと思う。コーヒーを飲みながら読書などできれば、図書館に来るきっかけにもなるのではないか。
- ・東西図書館の統合はやめてほしい。
- ・文化面にもっと予算を割いてほしい。
- ・障がい者支援をもっと手厚くしてほしい。
- ・今後もヒアリングの機会をつくってほしい。

○図書館の障がい者サービス、支援団体との連携は図書館奉仕の一部門として確立させたい。

丹後視力障害者福祉センター（あい丹後）は、昭和50（1975）年の設立以来、半世紀にわたり京都ライトハウスとともに府内の視覚障害者の支援にあたっています。
主要な業務は、

●点字図書館の運営

●視覚障害者の相談支援

●ガイドヘルパーの派遣

です。
国、京都府、丹後地域の市町から運営の支援を受けて活動しています。

社会福祉法人
丹後視力障害者福祉センター
愛称 あい丹後
●京都ロービジョンネットワーク構成団体●

京都府北部の
「見えにくい」「見えない」
方のためのご案内

ご相談ください。
●本が読みにくい
●まぶしくて見えにくい
●歩きづらい
●仕事を続けられない
●学校で困っている
●障害者手帳、障害年金等の手続きが難しい
・・・など

点字図書館
(無料)
点字図書・録音図書の製作・貸出を行っています。
電話でお申し込みください、無料で郵送します。
対象地域：全国
対象者：視覚障害手帳所持者
(要登録)

相談・支援
(無料)
「見えにくい」「見えない」ことへの相談ができます。京都府の委託を受けた相談員が訪問で相談・支援をします。
対象地域：宮津市以北
対象者：視覚障害者手帳の有無は問いません。
まずはお電話ください。

ガイドヘルパー派遣
*指定障害福祉サービス（同行援護）事業所「丹後ガイドセンター」
視覚障害者のお出かけを支援します。
対象地域：宮津市以北
対象者：市町村から「同行援護」の決定をうけた方。
相談・支援の対象地域は綾部市・福知山市以北です

